

富里市 小学校区別防災カルテ

<概況>

8 七栄小学校

地区の概況

[地形・地勢]

地区の大部分は台地上に位置し、北部の一部分に盛土が存在する。

[交通]

国道296号線が東西を走り、東関東自動車道が地区内を南北に走る。

[人口]

人口は8校区のうち4番目に多い。年齢別人口割合をみると年少人口と生産年齢人口が市の割合より高く、老年人口は低い。

[建物]

1km²当たりの建物棟数割合は8校区のうち4番目に高く、市全体の平均をわずかに上回っている。木造老朽建物割合は32.0%である。

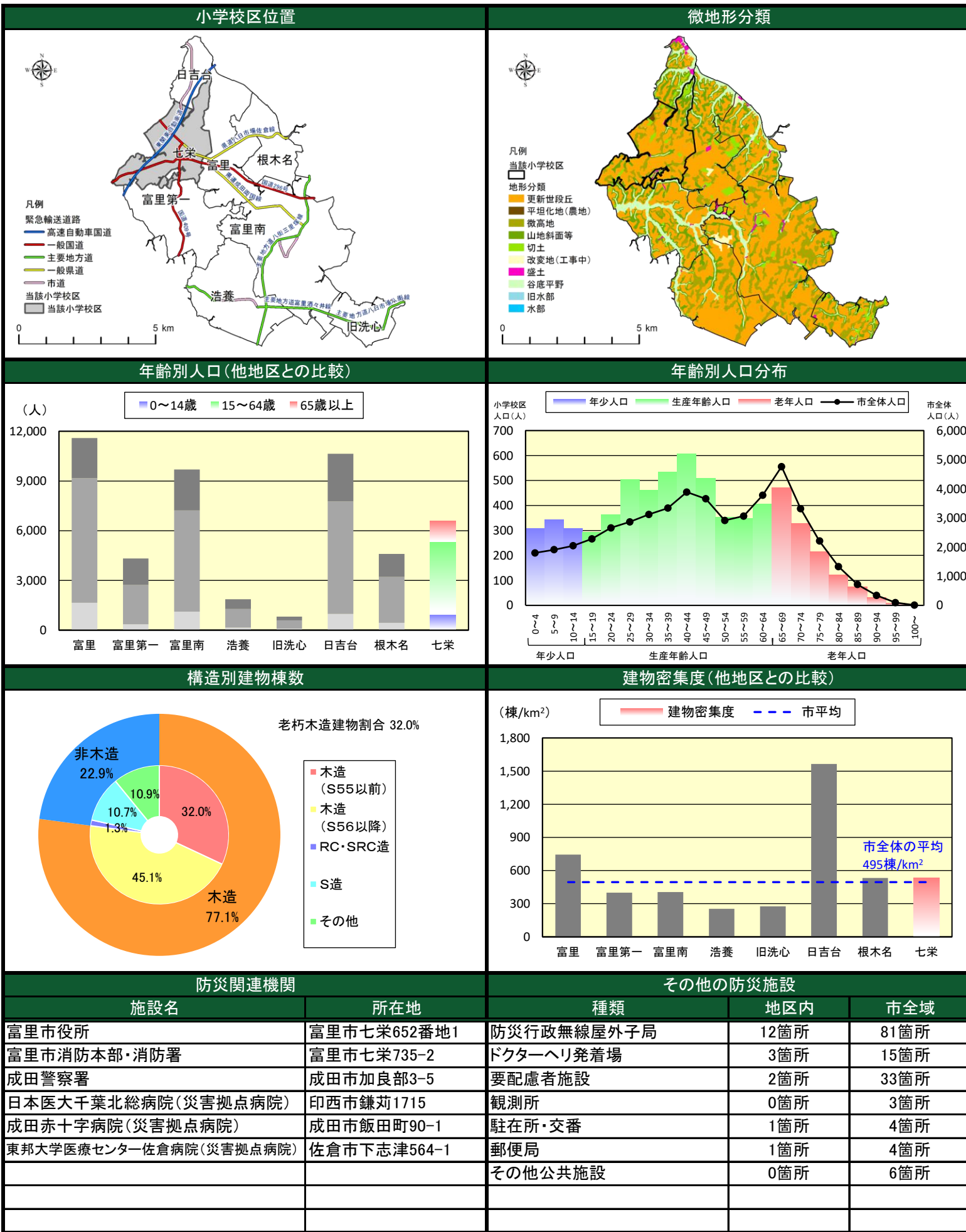
[避難施設]

指定緊急避難場所は3箇所、指定避難所は3箇所(収容人数は877人)指定されている。

		小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)		
面積		6.53 km ²	53.88 km ²	12.12%		
人口・家屋の分布状況	人口分布状況	人口	6,592 人	50,134 人	13.15%	
		人口密度	1,009.19 人/km ²	930.48 人/km ²	—	
		男女別人口	男	3,467 人	25,584 人	13.55%
			女	3,125 人	24,550 人	12.73%
		世帯数	3,080 世帯	22,654 世帯	13.60%	
		0歳以上～14歳	959 人	5,754 人	16.67%	
		15歳以上～64歳	4,379 人	31,569 人	13.87%	
		65歳以上～	1,254 人	12,811 人	9.79%	
		避難行動要支援者	1,520 人	10,851 人	14.01%	
	うち 一次名簿対象者	541 人	3,399 人	15.92%		
	うち 手上げ名簿対象者	979 人	7,452 人	13.14%		
	建物分布状況	建物棟数	3,504 棟	26,684 棟	13.13%	
		木造(S55以前)	1,120 棟	11,087 棟	10.10%	
		木造(S56以降)	1,582 棟	10,704 棟	14.78%	
		RC・SRC造	47 棟	290 棟	16.04%	
S造		374 棟	1,513 棟	24.68%		
その他		382 棟	3,089 棟	12.36%		
密集度		536.44 棟/km ²	495.25 棟/km ²	—		

避難施設	種類			施設名称	収容人数(人)		
	指定緊急避難場所	指定避難所	福祉避難所		指定緊急避難場所	指定避難所	福祉避難所
	●	●		七栄小学校	3,180	230	0
	●	●		富里中学校	7,812	588	0
		●		中部ふれあいセンター	0	59	0
	●			新木戸大銀杏公園	2,636	0	0
収容人数合計				13,628	877	0	

注 一次名簿対象者は、要介護3以上の方、障がい者、外国人等、手上げ名簿対象者は、単身の高齢者、妊産婦等を示す。
避難施設の収容人数は、複数の小学校区にまたがる中学校の収容人数も、全体の値を記載している。



富里市 小学校区別防災カルテ

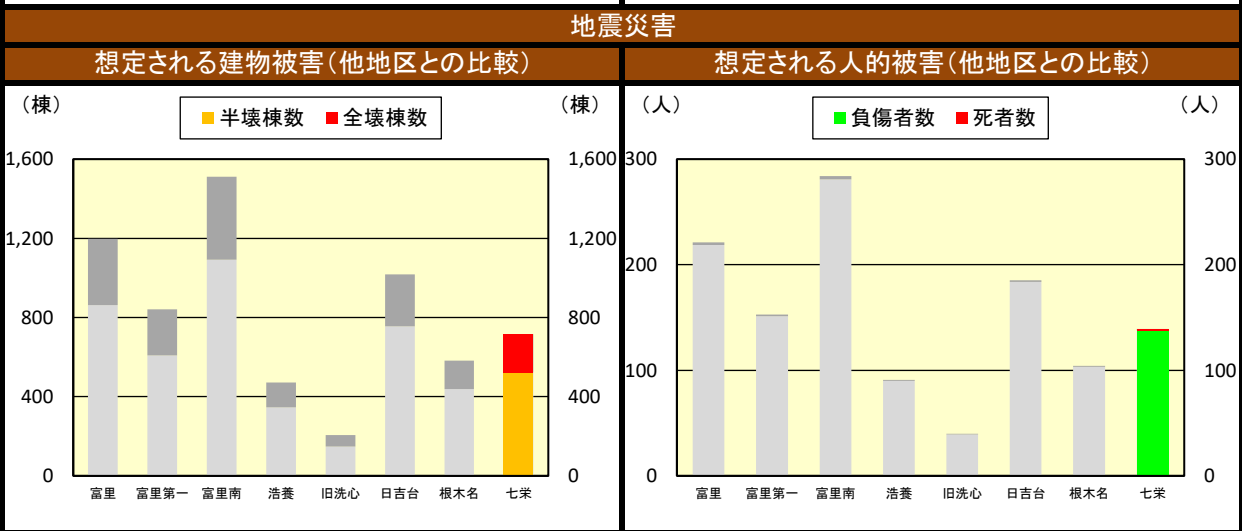
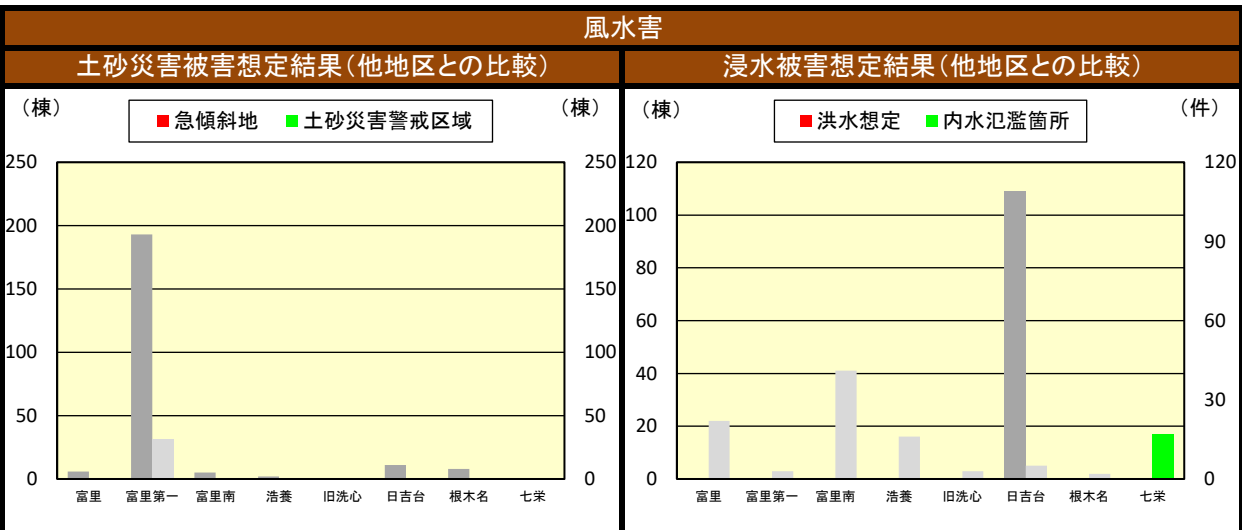
<結果>

8 七栄小学校

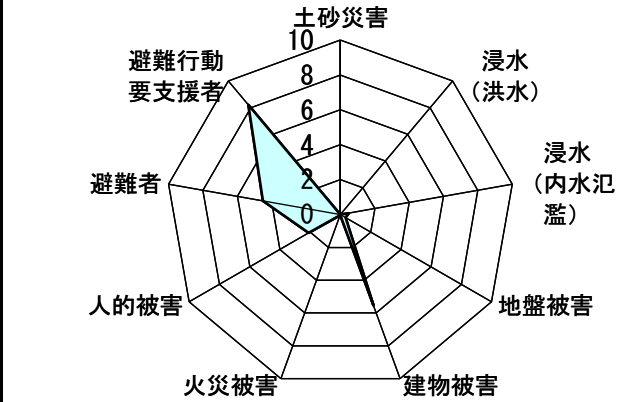
風水害					
土砂災害 結果被害		箇所数(箇所・地区)	重なる面積(ha)	避難の対象世帯数(世帯)	避難の対象者数(人)
	急傾斜地崩壊危険箇所	0	0.00	0	0
	土砂災害警戒区域	0	0.00	0	0
	うち特別警戒区域	0	0.00	0	0
	山腹崩壊危険地区	0	0.00	0	0
浸水 結果被害 想定	根木名川浸水(洪水)想定区域			内水氾濫箇所	
		小学校区(a)	市全体合計(b)	内水氾濫種類	小学校区(a) 市全体合計(b)
	浸水面積(km ²)	0.00	0.11	床上浸水(棟)	3 15
	浸水する建物数(棟)	0.00	109.00	床下浸水(棟)	14 94
	避難の対象者数(人)	0.00	332.49	道路浸水(箇所)	6 26

地震災害										
地震被害 想定結果		震度階級					液状化危険度			
		5弱	5強	6弱	6強	7	PL=0	0<PL≤5	5<PL≤15	15<PL
	面積(km ²)	0.00	0.00	6.53	0.00	0.00	5.77	0.00	0.74	0.02
	面積率(%)	0.00	0.00	100.00	0.00	0.00	88.37	0.00	11.28	0.35
	建物被害(棟, 出火件数のみ件)					人的被害(人)				
		小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)		小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)		
	木造全壊	184	1,751	10.51%	死者数	1	11	10.79%		
	木造半壊	497	4,766	10.43%	負傷者数	138	1,190	11.56%		
	非木造全壊	10	60	16.54%	重傷者数	21	181	11.60%		
	非木造半壊	28	160	17.28%	避難者数	495	4,646	10.65%		
	焼失棟数	1	7	16.00%	避難所避難者数	297	2,788	10.65%		
	上水道断水人口(人)					下水道支障人口(人)				
	断水人口	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)	支障人口	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)		
		3,472	25,672	13.52%		200	1,053	19.03%		

注 地震被害想定結果の建物被害、ライフライン被害は、冬18時強風時、死傷者数は冬深夜強風時の結果
避難所避難者数、断水人口、下水道支障人口は、地震発生直後の結果

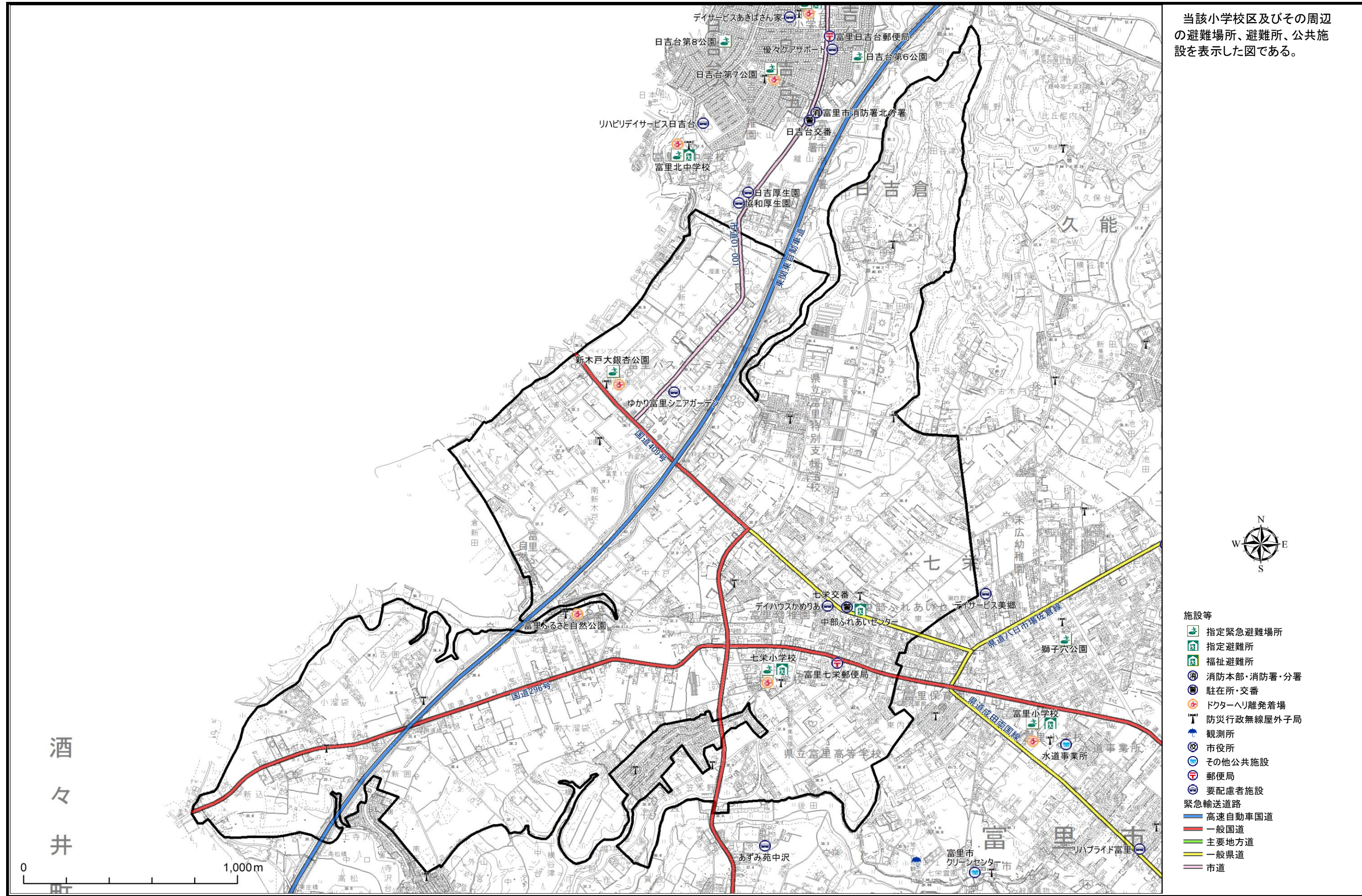


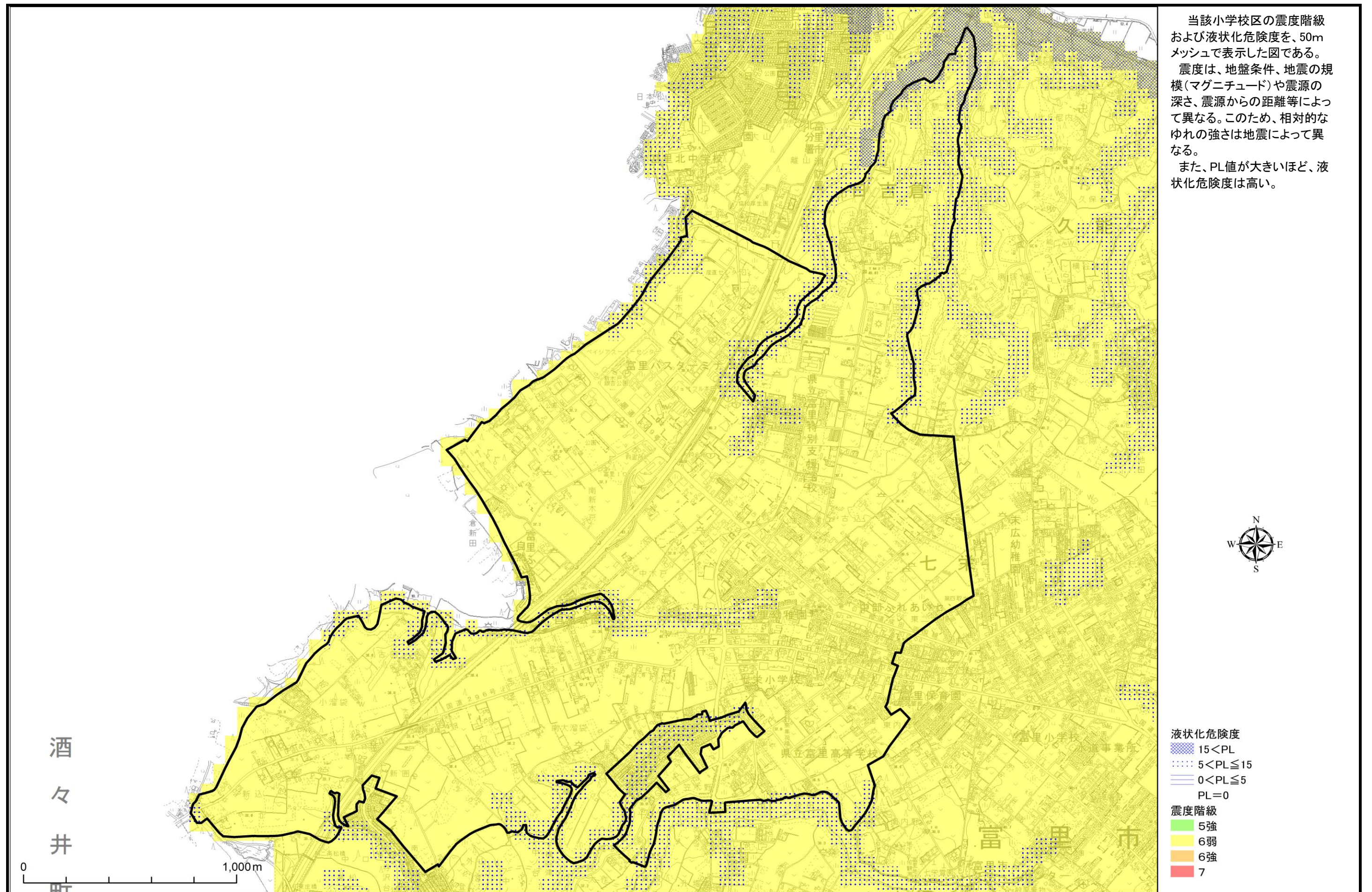
災害の種類		災害の評価(%)	数値	順位	評価指標
風水害	土砂災害	土砂災害の影響を受ける避難人口率 ※避難対象人数(人)/地区の総人口(人)	0.0	7/8	
	浸水(洪水)	洪水の影響を受ける避難人口率 ※避難の対象者数(人)/地区の総人口(人)	0.0	2/8	
	浸水(内水氾濫)	建物が内水氾濫の影響を受ける被害率 ※床上床下浸水合計棟数(棟)/地区全体建物数(棟)	0.5	3/8	
地震被害	地盤被害	液状化の被害面積率 ※危険度15<PL(m ²)/地区全体面積(m ²)	0.3	5/8	
	建物被害	地震による建物被害率 ※全壊棟数(棟)/地区全体建物数(棟)	5.5	8/8	
	火災被害	火災による建物被害率 ※焼失棟数(棟)/地区全体建物数(棟)	0.0	1/8	
	人的被害	地震災害による死傷人口率 ※死傷者数(人)/地区全体人口(人)	2.1	6/8	
	避難者	地震災害による避難人口率 ※避難所避難者数(人)/地区全体総人口(人)	4.5	8/8	
避難行動要支援者		避難行動要支援者率 ※避難行動要支援者数(一次名簿のみ)(人)/地区全体総人口(人)	8.2	2/8	

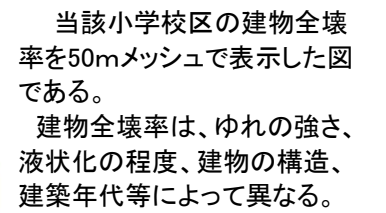


グラフの見方:
評価指標は、上記の災害の種類を、災害の評価に基づき、パーセンテージで表したものです。グラフの九角形面積が広いほど、地域が総合的に「災害に弱い」ことを示しています。

地区の災害特性		防災対策の方向性	
風水害	●内水氾濫の被害が8校区のうち3番目に多く、主に東側の居住地区に集中している。	風水害	●内水氾濫箇所は、雨水排水機能の強化が必要である。 ●大雨等による風水害に備え、日ごろから避難体制(特に要配慮者への支援)の整備を進める必要がある。
地震被害	●富里市直下の地震が発生した場合、全域で震度6弱の強い揺れが想定される。 ●低地では人口密集地では液状化の危険性が高い地域が存在する。 ●建物の全壊率は最も低い。 ●火災による建物被害率が最も高い。 ●校区の避難所避難者数は297人に対して指定避難所の収容人数は877人であり、収容力は十分である。 ●避難行動要支援者率は2番目に高い。	地震被害	●液状化のおそれのある地域では、地盤改良等の液状化対策が必要である。 ●昭和56年以前の建物には耐震化や家具の固定等を行う必要がある。 ●木造建物の不燃化として、沿道建物の不燃化等の推進を図る必要がある。 ●日ごろから避難訓練への参加や家庭内備蓄を行う必要がある。 ●避難行動要支援者の割合が高く、避難時に支援が必要となる。







＜風水害 浸水想定区域図(根木名川), 土砂災害の危険な箇所等＞

8 七荣小学校

